

様式

行田特別支援学校の活性化・特色化方針 (平成29年度～)

1 学校基本情報

種別	知的障害	学部・学科	小・中・高等部	児童 生徒数	(男) 143 (女) 66	計 209
ホームページ	http://www.gyoda-sh.spec.ed.jp/					
アクセス	JR高崎線 吹上駅下車 朝日バス：佐間回り行田折り返し場行、または総合教育センター行、または工業団地行産業道路下車 徒歩15分 行田駅下車 市内循環バス：南大通り線コース 工業団地行 警察署前下車 徒歩5分 秩父線 行田市駅下車 徒歩40分					
教育課程等の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の教育支援計画(プランA・B)に基づき、合理的配慮のもとに取り組む教育 ・卒業後の社会生活を見据えた、複数の教育課程による高等部の教育 ・交流及び共同学習をとおして、地域の子どもたちの相互理解に努める。 					
特色ある学校行事や部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・親子交流会の実施(小学部低学年) ・地域の小・中・高等学校との交流学习の実施 ・公共施設等での作品展示や高等部作業班の製品販売 					
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開の実施(年2回) ・学区域連絡協議会の開催(年2回) ・保護者自由参観の実施(毎学期) ・事業所フェアの実施(夏季休業中) ・PTA主催夏まつり、クリスマス会の開催 					
進路について	一般就労 5名 株式会社春日井本社、株式会社梅林堂本社、株式会社藤沢商事第5工場 社会福祉法人隼人会まきば園、株式会社エム・エル・エス(各1名) 福祉的就労 20名 大地、創楽(こころ)、メリーハーモニー(各2名) レイズアップ、夢知無恥、夢知無恥第2作業所、麦の穂、らーれ、ララク遊、株式会社リンクステーション、チューリップ、あかりワークス岩瀬、わかば、共愛会職業センター、明り学園、鴻巣職業訓練センター、ニコニコ食堂(各1名)					

(児童生徒数：H29.5.1 現在、進路はH29.3 卒業生の状況)

本校の魅力！

歴史ある風土、自然に恵まれた学校

学校運営に理解、応援をしてくださる地域の方々と保護者の皆様がいる学校

警察署、消防署など公共機関が近く、安全安心な学校

学校の近くには、忍城(水城)や、さきたま古墳公園があり、歴史と自然に囲まれています。



PTA主催の夏まつり、クリスマス会
保護者の応援が心強い

本校のマスコット

埴輪のハニーちゃん



県立行田特別支援学校 ～児童生徒の成長物語～



本校の 特色

自閉症などの障害特性を踏まえ、わかりやすく見通しの持てる指導・支援に努めます。
わかる授業づくりで自信を持たせ、学習に取り組む意欲を育てます。

学校行事

地域も応援、全校で取り組む学校行事
運動会
スマイルまつり
保護者が応援
PTA主催夏まつり、クリスマス会

現場実習

働く厳しさを知り、充実感を体験
します。
一般企業での現場実習
福祉事業所での現場実習

高等部

一人一人の力を伸ばす3つの教育課程

職業生活型

生活充実型

生活基礎型

社会生活、職業生活に必要な知識、
技能を身に付けます。
よりよい社会生活が過ごせるよう、
余暇を利用する力を身に付けます。

交流及び共同学習

通常学級支援籍の取組
行田市立東小学校、行田市立埼
玉中学校、行田中学校、誠和福祉
高等学校との交流学习

中学部

小学部で身に付けた力をさらに伸ばし、
自己肯定感を育みながら、クラスや学年で
の自分の役割を責任をもって取り組む意欲
や態度を身に付けます。
高等部での学習につなげ、実社会への興味
関心のきっかけとなるよう作業学習に取り
組み始めます。

地域との連携、センター的機能

就学前の教育相談、巡回相談の実施
学区域連絡協議会の開催
公共施設等での作業製品展示・販売
事業所フェアの開催
学校公開講座、研修会の開催
ボランティア養成講座開講

小学部

生活や学習の基礎となる、大人との信頼関
係、基本的な生活習慣、身辺自立に必要なスキ
ルを身に付けます。
体験活動をとおして、社会性の芽生え、規
範意識の基礎を身に付けます。

個に応じた支援・指導

保護者と合理的配慮について合意形成を図
り、個別の教育支援計画、個別の指導計画
を作成
アセスメントを活用した実態の把握
わかる・できる授業づくり
外部専門家の活用（臨床発達心理士、言語
聴覚士など）



行田特別支援学校は、水と緑と人が育む学校